

The Gallery

2005 (平成17) 年1月23日 (日) 発行・相模原市議会をよくする会

12月定例会版

透明化の陳情を不採択!

— 友好都市訪問事業 —

「相模原市議会をよくする会」は昨年11月18日、市議会の12月定例会に【相模原市議会の友好都市訪問事業に関する規定の早期制定と実施事業に関する一切の情報公開を求める】陳情書を提出した。審査に当たった議会運営委員会はこの陳情を不採択とし、本会議での採決でも「不採択」と決めた。

陳情では、事業の目的、参加人員、予算、派遣者選出方法、議員による報告書の作成義務、成果の公表等を盛り込んだ規定の早期制定、また報告書や領収書など一切の関係書類の情報公開を規定することを求めている。審査での発言を追ってみた。

規定作成や公開回避の声が大勢!

○長友克洋 (民主クラブ、不採択)

「改善の点はある。陳情者と意見交換して、今のあり方が最善か再考してはどうか。友好訪問は外交の一種、長期的に理解してもらいたい。派遣方法などは非公開なので、基準は作ってもよい。ファイルの保存などの仕組み作りはいい。でも代表者会議で計画・協議しているから、いいのではないか。」

○松永千賀子 (共産党、採択賛成)

「以前は報告制度があったのか。(事務局＝平成6年に一括決裁、9年には全員協議会へ報告していた。) もっと積極的になんかと言うのが陳情の趣旨ではないか。規定を作っても何も制約にはならない。」

○関山由紀江 (公明党、不採択)

「どうあるべきか考えるのは大切だが、代表者会議でしっかりと改めてやればよい。」

○折笠峰夫 (市政クラブ、不採択)

「員数などは代表者会議でやっている。毎年実施を隔年にもした。報告者は随行者となっているが、高度なものにするには自分たちでやる。これは大事だ。代表者会議で改善してもらおう。会派割にしているが、その善し悪しは基準は公開してないから、不信感がある。過去の反省をして友好を続けたい。議長に報告して、代表者会議で話し合ってもらおう。訪問事業の報告書なんか作っても陳情者以外は見に来ない。来るなら、1万部でも作って置いとけばいいんだ。」

○岸浪孝志 (市政クラブ、不採択)

「議会は各分野の交流と併せてやっているし、異なった主義の国とも交流する。規定はなくても代表者会議ですんでいる。規定化はむしろ事業ありきになってしまう。」

○川田基晶 (市政クラブ、不採択)

「議員に対する不信感だ。自分たちは選挙で信任されている。互いに不信感をもっているのに、陳情はそぐわない。」

5頁へ続く→

傍聴報告・12月定例会

■本会議 (感想と意見) (11月24, 30, 12月20, 21, 22日の5日間)

1. 本会議初日に山口和夫氏の収入役選任に西村議員一人が賛成しなかったが、無所属は人事には何でも反対するのが慣わしとの解説。本当なら少し驚き。
2. 長友克議員が山口収入役の賛成討論。その中で、木下助役と大谷収入役の突然の退任問題を指摘、合併・財政難の時期に異常な市庁舎内の事件とした。市長はHPで「寝耳に水」と語るが、市長の束ね方の問題か、幹部職員の問題か分からないが説明責任がある。本会議の冒頭の挨拶でも何も触れなかったことは残念、事態を重く受け止めよと迫った。議員として当然の発言と同感した。
3. 東條議員が、藤野町との合併調査費5百万円の補正の根拠を質問したが、納得のいく答弁は聞けなかった。でも市長は藤井・長友克両議員の合併質問には簡単ながら答弁に立ち、目標の年度末が無理な場合には延期することを明言した。

■合併問題特別委員会メモ■

12月10日開かれた委員会では、「相模原市民自治を考える会」から出された「合併問題の情報公開と住民投票を求める」陳情を審議。金子議員が相模湖町の住民投票結果に対し、その重みと結果の尊重を強調したのは評価する。長友克議員はいろいろ質問するが、結局は陳情に反対。何か煮え切らない。

4. 金子議員が米陸軍第1軍団司令部の座間移駐で、市長の訪米を促したのに対し「考える」と答弁、息の合った感じだった。しかし、後の田中議員の同様の質問には、市民協議会と相談するなど、何が何でも反対しに行く姿勢はなかった。
5. 細谷政議員の質問の際、十数名の応援傍聴者が押しかけた。商業振興策では西

- 門を集客力向上地区に考えているとの答弁を引き出した。自分の発言時にだけでも、自分の後援会員を傍聴に駆り立てる方法を各議員が真似てはどうか。市議会活性化の一助になるかもしれない。
6. 選挙管理委員は議長の“推薦”で選任されたが、議会の選挙で決めることになっているはず。大会派中心に推薦でいいのか。
 7. 議提議案12号(郵政事業の経営形態の在り方に関する意見書)に同意しなかった民主クラブに、初めて傍聴した人が「なんで」と言っていた。本会議3日目の請願第4号で反対討論をしていたのを聞き損なった人には分からないはず。
 8. 久保田準議員の誰のための農地指定かという問いに同感。もう一步進めて農業委員会の在り方も問うて欲しかった。
 9. 関山議員の質問への答えが違うことを、2問目で指摘されても、またも違う答弁をする教育委員会。議長は何をしている!
 10. アンケートの回答意見に、公務員を減らし経費節減になるというのが多かったと、田所広域行政担当部長。議員を減らすことも大事だ。
 11. 長友議員の教育委員会への質問は緊張漲るものだった。全ての質問をはぐらかす幹部たちの答弁に議員は怒った。他議員の呆然と聞き入る姿が印象的だった。教育委員会の根本的意識改革が必要だ。ただ、社会経験のない教師を問題視していた点は議員にも同じことが言えないか。
 12. 菅野議員は反対討論で、相模湖町の住民投票で相模原市の合併問題の土台は崩れたと力強く主張したが、市政クラブ側は白けたムードだった。
 13. 金子議員が米陸軍第一軍団司令部の座間地区へ移駐について質問。市長は「必要とあれば米国へ行く」と言った。金子議員は「地元無視ということに対して、市長の苦

波の態度が滲み出ていた」と市長を賛美している様子。掲げる議題と態度が相反する珍しい人だ。

14. 久保田隼議員、「企業誘致条例について」の前段では、“合併に向かってガンバロー!”と言う感じ。本市の強みは何かと問えば、部長が相模原市の宣伝をするという筋書きが出来ていた気がした。
15. 西村議員が質問したフェルージャ攻撃への市長の感想は「戦争が止みイラクの平和の訪れを願う」と答弁。2問目で市長は下を向いて書類に目を通し続ける。西村議員の質問の気持ちは理解できるが意味ある答弁を引き出せる工夫をしてほしい。
16. 小池議員、問題のポイントの突き方が巧い。他の議員も見習うべきだ。特に合併に関する市民アンケートについては誰もが漠然と思っていたアンケートの取り方の作為性を追求。市長らは最後までとぼけた答弁だったにしても、小池議員には「よく言った」と拍手を贈っておきたい。
17. 佐藤議員、1問目の質問席から降壇の時「(市長に)ヨイショし過ぎたかな」とひとりごと。橋本駅南口開発関連で何やら行政への厳しい追求も、最後の市

長へのねぎらいの言葉は棒読み風。強気の弁舌に反し、顔色が悪かったが大丈夫か心配だった。

18. 折笠議員は市南部エリア開発について質問など、まちづくりの全般網羅はよいが、議員席でもう少しキチンとしてられないものか。
19. 今議会の流行語は「ワンストップ」。市長はじめ数人が口にした。One Stopで全て済むようにする「窓口一本化」らしいが、そんな言葉で縦割り行政が改善されるなら結構なことだけど。
20. 石井議員、南清掃工場建替えて、古くなると維持費が高くつくから計画を早めたらと語る。同じ問題を全く反対の立場で言う議員がいる以上、市民は自ら判断する力を持たねばと思った。児童用防犯ブザー、GPS内蔵ランドセルの開発など、ハード面の充実を行政と共に図るのが与党的立場なのか。
21. 友成議員の問いに対する教育長の答弁は通りいっぺんで具体性なく、聞くに値しないもの。今回ほどでないが、今まで何度もあった。市長答弁にも共通するが2問目以降の部長級の答弁で、ようやく噛み合う。見当外れや追求の甘さに、議会の傍聴はかなりストレスがたまる。

■委員会 (感想と意見)

■総務委員会 (12月3日)

- 議案が2つ、請願・陳情が3つという寂しい委員会は12月定例会のいつもの姿と言える。議員生活も楽なものだ。まして、一度も発言しない佐藤、細谷達両委員は議員の役割を何と考えているのか。
- 総員で可決した「個人情報保護条例」については、「61条と62条の違い」を聞いたり(稲垣委員)、「コピー機の残存情報処理の仕方」を聞いたり(菅原委員)、と質問が相次いだ。菅野委員は

「個人情報保護条例に“開示”という用語は馴染まない」との意見。しかし、結局は総員賛成で可決した。いつもながら、たわいない質問も多く、傍聴も忍耐だ。

- 16年度一般会計補正予算で、藤野町との合併協議に500万円。先の3町との協議につけた予算と同額はおかしいと菅野氏。協議のまとまる時期について、市側は平成17年1月と答えたが、“不透明な予算”と指摘、ひとり賛成しなかった。
- 陳情31号(子どもの広場設置要綱の都市計画税減免の規定について)は陳情取り下げになったが、そのきっかけは菅野副委員長が「陳情者の考えをいま本人に聞いたら

どうか」と提案、傍聴に来ていた陳情者と寺山委員長が休憩中話し合い同意した。菅野副委員長の臨機応変の措置は「副委員長の鏡」として評価したい。

【参考】この陳情については、「陳情者はよくわかってない」（折笠委員）
「陳情者に分ってもらいたい」（菅原委員）
「陳情者と市側職員とのコミュニケーション不足だ」（金子委員）などの発言があった。

■ 環境経済委員会（12月6日）

○AED（自動体外式除細動器設備）が1829万円補正で見積もられたことで、妙な質問が相次いだ。

長友克委員＝消化器と間違えないように注意してほしい。

中村委員＝落としたら壊れるか。メーカー間の表示の共通性はあるのか。医師会などでPRを。

関山委員＝AEDの普及員は何人か。（250名との回答だった）

○こんな程度の審議で、実際の緊急時に役立たせるか分からないような高額な機器を安易に購入・設置できるのか不安だ！

○陳情第38号で、藤井委員が建替え整備の規模について、市が説明した平成18年着工の計画では日量588万トンで、津久井各町との合併を見込んだものとの回答を引き出した。未知の合併を前提に進める事に批判的なのはもっともだ。

■ 民生委員会（12月7日）

○松永委員が市税条例の一部改正について県の考えが出る前にこんな改定をするなど意見。市側は独立採算上必要、赤字補填債はすでに議論したと答弁。委員は国の責任で、市の負担はおかしいと主張。

○石井、久保田義の両委員は会の審議に一切口を開かず、ウンザリ顔で時間の経つのを待っていた。こんな委員は何のために居るのか。勉強会のつもりでいるようだ。

■ 文教委員会（12月9日）

○わずか40分で終了した。議案は平成16年度一般会計補正予算のみで、あとは陳情が6件。陳情も「中学校の完全給食早期実現を求めて」の他は教育基本法関連が5件だけ。前9月議会では基本法の「改正」に対する「反対の意見書提出の陳情」は2人の委員が採択に賛成、他の委員からは意見らしい意見も聞かれず、「国の動向を見て...」と継続になった経緯がある。今回はそれすらもなく、ただ「陳情の継続審議」の賛否だけで終わった。その結果、陳情23号の継続は7回、1年半も繰り返された。

○政府の「改正案」は、文教委員たるものはよく読んで自分の考えを持ち、議論するのが務めではないか。

○陳情については、相変わらず「休憩」が多過ぎる。小声の委員は聞かれたくない意見のようだ。継続審議に反対したのは西村委員だけだった。

（議会運営委員会の議論は第1面に掲載）

本会議で「急増する教職員の休職者」をめぐる議論

★松永議員が実態を質問。教育委員会は今後調査と回答。議員は即時調査を要請したが、そもそも指摘を受ける以前に把握していて当然ではないか。

★病気は早期発見・早期治療が、当事者にも委員会にも鉄則のはず。教職員の多忙化は著しく、長時間勤務の結果は労働超過、ストレスなどで、休職や退職が増加、心の病を抱える例も増えている。

★松永議員は、元気な先生が元気な子どもを育てるとい学校教育に支障をきたさないよう市が非常勤講師対策を講じるよう求めていたが、市の緊急な対応が必要ではないか。（篠田房枝）

政務調査費の増額案浮上

— 合併後の仕事増と海外視察費が理由か —

昨年央ら、政務調査費を増額しようとする案が市議会の代表者会議（会派からの代表）で検討されてきた。しかし、昨年中には結論に至ることなく、“増額”の方向づけだけを決めたようである。

現在の年額は1人当たりの予算額で84万円だが、未使用分は返却する仕組み。しかし実際には残金（数千円）を返済する例はほんのわずか。名前は「調査費」だが実態は視察等に限らず、事務費、資料購入、広報、研修費、PC購入など、ほとんど何にでも使えるため、第二の報酬などと呼ばれている。

しかし、その決算書類は、関係条例で公文書扱いになっていないので、市民の公開

請求には応えなくてもよい。したがって会派によっては、視察報告書や領収書の類は一切見せていない。そうした方針は先に触れた代表者会議で決められるようだが、政務調査費の不透明さを是正する考えはないのだろうか。

増額の根拠は、市政クラブで先に実施したシンガポール視察のような海外旅行費やいま市民の注目を集める「合併」が実現すれば議員の活動範囲が広がるといったことまで計算に入れているようだ。

噂では、議員提案の形で議会に提出される可能性がある。（代表者会議のメンバー会派は無所属を除く市政クラブ、公明党、共産党、民主クラブ、社民党、神奈川ネット）■

市議会 市政クラブ シンガポール I T 視察

市議会最大会派「市政クラブ」は、昨年11月7日から11日までの5日間、シンガポール共和国へ「IT」（情報通信技術）事情の調査を目的に7人の会派議員を視察旅行に送った。経費は政務調査費を当てた。

本会は、政務調査費による初の海外視察ということに注目、その内容に大きな関心を寄せ、実施直後から「視察報告書」の開示を求めている。これに応え、このほど同会派から報告書作成の中間報告が赤倉昭男本会代表に行われた。一昨年、国内視察の結果報告書と収支決算書（領収書も）の開示を求めたのにのに対し、完全に拒否されたのとは違い、同会派の公金支出に関する意識が大いに变化したことを評価したい。報告会では視察団の副団長を務めた佐藤賢司議員から、今後は市民への公開を積極的に行う考えも示された。報告書の完成は1月末を予定している。

— 1頁から続く —

【解説】 審査の中で、井上庶務課長は「代表者会議で一定のルールは作ってきた。」と、習慣法的なものがあると参考意見を述べた。庁内ではいわゆる『例規集』なるものが、職員の行動規範となっている。しか

るに、議会の微妙な意思決定についての基準・ルールの存在が無く、また作ろうとしないのはなぜか。いわば秘密会議の代表者会議を楯に今回も陳情を退けた。そんな議員を信任した覚えは毛頭ないのだが。 ■



相模原市議会12月定例会審議結果一覧表 2004(平成16)年

【審議結果】

(NO1)

議案番号	議案名	議決結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数									
			市 ク (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 ク (4)	社 民 (2)	神 奈 (2)	無 所属 (長)	無 所属 (西)	無 所属 (東)	
議案第65号	相模原市個人情報保護条例について ・個人情報の漏えい等に係る罰則の規定の追加、その他所要の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第66号	相模原市立児童クラブ条例の一部を改正する条例について ・宮上児童クラブ、若松児童クラブの設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第67号	相模原市保健所及び保健センター条例等の 一部を改正する条例について ・南保健センターと南療育相談室及びあじさい会館南分室の設置 並びに南福祉事務所の位置変更、その他所要の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第68号	相模原市市税条例の一部を改正する条例について ・国民健康保険税の税率及び軽減額の改正、その他所要の改正	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●
第69号	町の区域の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第70号	町の区域の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第71号	平成16年度相模原市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●
第72号	収入役の選任について(山口 和夫氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
第73号	人権擁護委員の候補者の推薦について(小林 祥子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第74号	人権擁護委員の候補者の推薦について(大久保 博通氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第75号	人権擁護委員の候補者の推薦について(小林 義信氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第76号	人権擁護委員の候補者の推薦について(熊崎 三郎氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第77号	人権擁護委員の候補者の推薦について(江成 功氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第78号	人権擁護委員の候補者の推薦について(藤井彌恵氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議提 議案第12号	選挙管理委員の選挙……選挙なし ・議長の指名推薦 (大貫 恭嗣氏) (大内 千秋氏) (角田 毛利氏) (八木 雄典氏)											退席
	選挙管理委員補充員の選挙……選挙なし ・議長の指名推薦 (高橋 英雄氏) (三池 良子氏) (鹿戸 陽子氏) (金井ハツエ氏)											退席
第12号	郵政事業の経営形態の在り方に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第13号	児童扶養手当の減額の見直しを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=可決、同意 ●=否決、異議 退=退席

【請願・陳情結果】

番号	請願・陳情名	結果	会派別議決結果 ()=会派構成人数									
			市 ク (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 ク (4)	社 民 (2)	神 奈 (2)	無 所属 (長)	無 所属 (西)	無 所属 (東)	
陳情第23号	教育基本法改正の見送りについて(2003年6月定例会提出)	△										
第17号	教育基本法の理念を生かすことを求める意見書の採択について (2004年3月定例会提出)	△										
第20号	教育基本法の早期国会審議を求める意見書提出について (2004年6月定例会提出)	△										

◎=採択 ×=不採択 △=継続審議

相模原市議会12月定例会審議結果一覧表

2004(平成16)年

(NO2)

【請願・陳情結果】

番 号	請 願 ・ 陳 情 名	結 果	会派別議決結果 ()=会派構成人数																	
			市 ク (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 ク (4)	社 民 (2)	神 奈 川 (2)	無 議 席 (長)	無 議 席 (西)	無 議 席 (東)									
陳情第24号	教育基本法改正に対し相模原市議会として反対の意見書の提出を求めることについて (2004年9月定例会提出)	△																		
第29号	教育基本法改正案の国会提出の見送りと、同法の理念・精神を生かした教育の実現を求めることについて (2004年9月定例会提出)	△																		
請願第4号	郵政事業の経営形態の在り方について	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
陳情第25号	当市3町合併問題に関し、市民への十分な情報公開と議論の場の保障並びに住民投票を求めることについて (2004年9月定例会提出)	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎								
第30号	飲料、農業、農村基本計画の見直し及びWTO・FTA交渉について	△																		
第33号	相模原市子どもの広場設置要綱の規定の是正及び厳守について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第34号	市立中学校完全給食の早期実施を求めることについて	△																		
第35号	若松児童クラブ建設用地取得方法の透明性の確保について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第36号	相模原市議会の友好都市訪問事業に関する規定の早期制定と実施事業に関する一切の情報公開を求めることについて	×	×	×	◎	×	×	◎	×	◎	×	◎								
第37号	児童扶養手当の減額について	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
第38号	南清掃工場建替整備計画の延期を求めることについて	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	×	◎	◎								

◎=採択 ×=不採択 △=継続審議

【市内の1有権者からの手紙】 (投書)

「議会ウォッチングご苦労さまです。気になることがあります。それは6月から2人の議員が欠席を続けていることです。理由と状況も、本人はもちろん所属する会派からも議会からも明らかになっていない。議員報酬はキチンと支払われているそうです。ウォッチャーとして、どうお考えですか。1月には市長選挙もあり一緒に議員の補欠選挙が有るかもという噂もあります。」

【市議会会議規則の条文】

「第2条 議員は事故のため出席できないときは、その理由を付け、当日の開議時刻までに、議長に届け出なければならない。
2 前項の届出があったときは、議長は、その事由を会議に報告しなければならない。」(昭和42年10月11日議会規則第1号)

議員欠席



岩上 容子 議員



武原 祐子 議員

【本会の調査】

議会事務局に、欠席している岩上容子(日本共産党)と武原祐子(神奈川ネットワーク運動)両議員の欠席理由をききました。欠席届けは出ているが、その内容(理由)を公表出来ないとの回答でした。そこで1月14日に「両議員の

欠席届け」の情報公開請求を行いました。開示は21日に行われたが、結果は「理由」の部分は真っ黒に消されていました。

★市民は議員の欠席理由を知ることが出来ないことがハッキリしました。あとは議員自身が有権者に対してどのようなメッセージを送るかにあるのではないかと。

相模原市議会12月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO1)

議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
友成 洋一 (社会民主党) 	①県立高校改革計画案について ・本市で統合の対象校となった高校の跡地活用について ②地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正について ・学校運営協議会について ③少人数学級編制について ・本市独自の少人数指導等支援事業について	山崎 順二 (公明党) 	①子育て支援について ・子育て相談等の充実について ・CAPプログラムの取り組みについて ②ひきこもり対策について ・相談、支援の充実について ③環境政策について ・環境教育や活動の拠点整備について
石井 千太郎 (市政クラブ) 	①合併問題について ・国の財政支援について ②南清掃工場の建替え計画について ・着工時期について ③樹木剪定枝の資源化について ・成果品の利用状況 ④コミュニティバスの導入について ・導入スケジュールについて ⑤教育問題について ・児童生徒の安全と防犯対策	西村 綾子 (無所属) 	①基地問題と平和の希求 ・米軍再編計画（トランスフォーメーション）について ②「障がい児・者」と共に生きる社会の実現をめざして ・「障がい者」の雇用について ・「障がい児」教育について ・介護保険制度への統合(案)について
東條 恵美子 (無所属) 	①南清掃工場建替整備計画について ・合併による処理量の変更について ・ガス化熔融流動床炉のトラブルなどについて ②災害時における災害弱者の支援体制について ③グリーンアサヒの現状と今後について ・今後の市としてのかかわり方について	関山 由紀江 (公明党) 	①教育について ・学校施設のバリアフリー化について ・中学校で取れる国家資格について ②図書館の利用について ・障がい者、高齢者の為の図書宅配について ③高齢者について ・高齢者虐待防止マニュアルについて
久保田 肇夫 (市政クラブ) 	①企業誘致条例について ・条例の目指すものは何か ②市街化調整区域について ・誰のための農用地指定 ・線引きの見直しについて ③道路整備について ・新戸相武台線の進捗状況は ・米軍再編の影響はないか	松永 千賀子 (日本共産党) 	①学校教育について ・学級崩壊、不登校等教育困難の実態と少人数学級の有効性について ②後期高校再編計画の中の中高一貫校について ・選抜競争の低年齢化など市内教育への影響は ③市が無料職業紹介事業を行うことについて
金子 豊貴男 (社会民主党) 	①有害なPCB含有廃棄物の保管実態と今後の処理、国の取り組みに関連して ②第1軍団司令部移駐問題に、市としてどう取り組むか、市の対応と日本政府、米政府との対応 ③厚木基地の爆音被害対策と騒音対策区域の見直しについて ・実態を正しく反映できるか	大上 和夫 (公明党) 	①市発注工事等について ・事業契約と手形による支払いの制限について ②食生活指針の推進について ・食生活改善の推進について ③動物の保護と活用について ・動物の終生飼養の啓発について ・仮称「動物愛護センター」の設置について

相模原市議会12月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO2)

議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
藤井克彦 (日本共産党) 	①相模大野駅西側地区再開発の見直しと住民合意の街づくりについて ②南清掃工場の建替整備を「津久井郡4町との合併」を前提に進める方針の撤回を求めて ③津久井郡との合併協議会について ④PTPS(公共車両優先システム)と道路交通の改善について	小池 義和 (民主クラブ) 	①市制50周年記念事業市民シンポジウムについて ・市民シンポジウムの評価について ②相模原、津久井地域の合併について ・相模原、津久井地域の合併に関する市民アンケートについて ・合併の目的について ・市民への情報提供について
小林 一郎 (公明党) 	①街づくりについて ・歩いていける街づくりについて ②学校の環境整備について ・監視カメラシステムについて ③福祉施策について ・高齢者、親なき後の障害者の成年後見制度について ④自転車の交通安全対策について ⑤相模川河川敷の散策路整備について	折笠 峰夫 (市政クラブ) 	①再開発による都市基盤整備について ・相模大野駅西側地区市街地開発について ②市南部における保健、福祉の充実について ③犯罪のない街づくり推進について ・南警察署の移転について ④基地問題について ・周辺整備法の助成制度の活用と新たな助成制度について
細谷 政幸 (市政クラブ) 	①防災と救急対策について ・市民の防災に対する意識と今後の施策と整備について ②近郊緑地特別保全地区(木もれびの森)について ③商業振興策について ・大型店と商店街の共存、共栄について ④地域子育て支援の充実と取り組み	岩本 香苗 (神奈川ネットワーク運動) 	①ごみ政策について ・市民と共に進めるごみ減量化、資源化 ②学校給食について ・地場産物の取り組み ③地域福祉計画について ・市民活動、NPOの位置付 ・社会福祉協議会の役割
田中 武夫 (日本共産党) 	①米陸軍第1軍団司令部の移転問題について ・横断幕など移転阻止の運動をさらに発展させ、市民集会や署名運動の展開を ②市営住宅の増設について ③バス交通問題について ・コミュニティバスの計画と進捗状況は	長友 克洋 (民主クラブ) 	①教育行政について質す ・学力低下について ・薬物等の対策について ・学区撤廃について ・民間交流について ・総合学習センターの委託について ・合併協議事務事業一元化教育委員会分について ・不祥事について
中村 昌治 (市政クラブ) 	①21世紀の農地のあり方について ・日帰りのグリーンツーリズム導入について ・これからの市街化調整区域の土地利用について ②相模川河川敷の空間利用について ・青少年のスポーツ振興について ③文化財の普及と活用について ・田名向原遺跡の整備計画について	佐藤 賢司 (市政クラブ) 	①健全財政維持のための方策について ・民間でできることは民間に委ねることの徹底について ・福祉のあり方の変化と扶助費の抑制について ②橋本駅周辺都市再生緊急整備地域について ③市制50周年記念事業について ・結果と今後どう生かそうとしているか

※詳しい内容は『市議会だより』や『議事録』を参照して下さい。

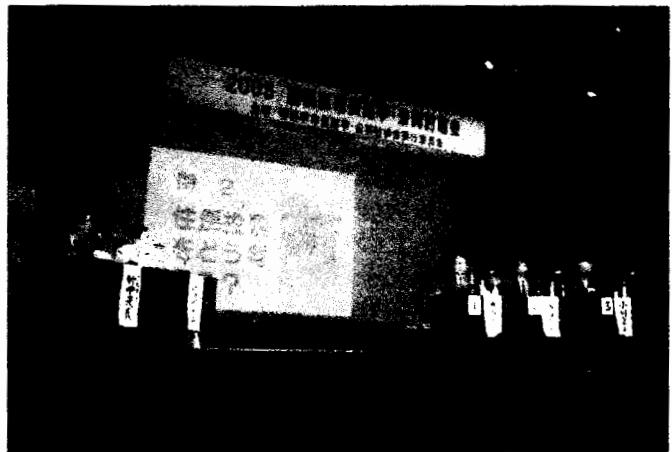
市長選 公開討論会の風景



壇上に視線を凝らす市民



ジャンケンで決めた着席順



激論を戦わせたステージ



運営を担った実行委員グループ



議論を運んだコーディネーターの二人

候補予定者が討論会

9日、合併や米軍移転で質疑

23日投票開票の相模原市長選に立候補を予定する現職の小川勇夫市長(74)▽前市収入役の大谷直敏氏(61)▽一級建築士の長崎克央氏(48)の3人の公開討論会が9日夜、同市富士見のあじさい会館で開かれる。大きな争点となった津久井郡4町との合併問題や、米陸軍第1軍団司令部のキャンパス座間への移転問題などについて3人の考えを聞く。

23日投票開票の相模原市長選に立候補を予定する現職の小川勇夫市長(74)▽前市収入役の大谷直敏氏(61)▽一級建築士の長崎克央氏(48)の3人の公開討論会が9日夜、同市富士見のあじさい会館で開かれる。大きな争点となった津久井郡4町との合併問題や、米陸軍第1軍団司令部のキャンパス座間への移転問題などについて3人の考えを聞く。

【高橋和夫】

1月9日 相模原市長選で公開討論会

市民実行委

一月二十三日に投票が行われる相模原市長選に先立ち、立候補予定者の公開討論会が一月九日午後七時から市立あじさい会館ホールで行われる(本社など後援)。

過去に市長選や国政選挙などでも行ってきた相模原市議会をよめる会やさがみはら市民会議、個人をメンバーとする公開討論会実行委員会(代表・赤倉昭男氏)が主催するもので、立候補予定者で新人の長崎克央氏、現職の小川勇夫氏、新人の大谷直敏氏の三人を招き、①相模原市と津久井四町の合併問題に対する基本的なスタンスと理由

エムさがみて生中継される。3人が共通の質問に答えた後、それぞれの回答

【高橋和夫】

報道転載

相模原市長選

9日に合併、基地など4テーマ 将来託す公開討論会

任期満了に伴う相模原市長選(一月二十三日投票)で出馬を予定している三人が参加する「相模原市長選挙 公開討論会」が一月九日、同市富士見のあじさい会館で開かれる。市民有志で組織する同討論会実行委員会での立候補を予定している。討論の模様はエフエムさがみて生中継される。

出席するのは、出馬表明順に、新人で一級建築士の長崎克央さん(48)、現職で三期目を目指す小川勇夫さん(73)、新人で

「合併」「基地」「借金」の四つに絞った。合併問題へのスタンスや米軍第一軍団司令部のキャンパス座間への移転問題に対する取り組みなどについて、それぞれの主張や政策などを述べたり、立候補予定者間での質疑を行う。会場から募集した質問にも答える。実行委では「市の将来を託すのにふさわしい人か、顔を見て、声を聞き、話を聞いて判断してください。投票率を上げる機会にしたい」と来場を呼び掛けている。九日午後七時スタートで入場無料。問い合わせは、赤倉さん(042(749)9140)。(吉田 勝行)

合併・基地立候補予定者が激論

16日に告示される相模原市長選を前に、立候補予定者が主張を戦わせる公開討論会が9日、同市富士見6丁目の「あじさい会館」で開かれる。主催者は、津久井郡4町(津久井、城山、相模湖、藤野)との合併問題などについての各氏の主張を見極め、新たな市長を選挙判断材料にしてほしい

相模原市長選で公開討論会開催

9日に市民団体

として、市民団体などをつくる実行委員会の主催。立候補の意思を表明している小川勇夫市長(74)と元市収入役の大谷直敏氏(61)、建築士の長崎克央氏(48)の3氏が出席する。

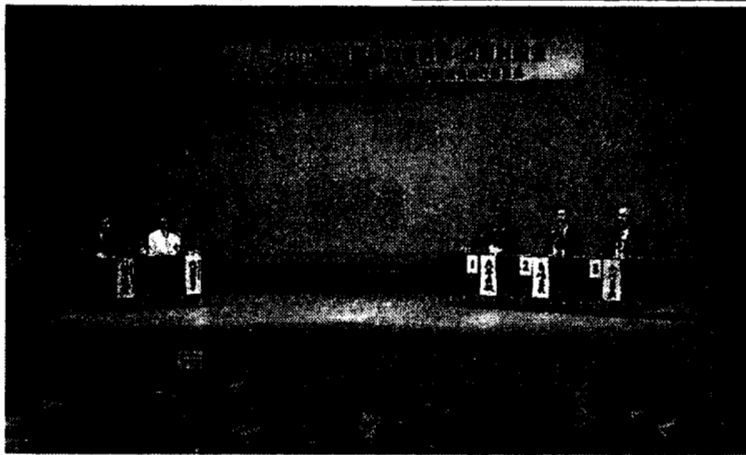
討論会の模様は地元放送局のFMさがみでも生中継される。午後7時〜同9時半。入場無料。問い合わせは赤倉昭男さん(042・749・9140)へ。

合併問題など論議

相模原

市長選 立候補予定者 3人出席し討論会

今後四年間の市政のありか、定者による公開討論会が九日、同市内で開かれた。と、相模原市長選（二十三日投票）の立候補予定者（赤倉昭男代表）の主催。



合併問題などをテーマに議論した市長選公開討論会
＝相模原市富士見のあじさい会館ホール

市民約三百二十人が参加した。

出席者は、出馬表明順に新人で一級建築士の長崎克央氏（48）、現職で三期目を目指す小川勇夫氏（74）、新人で元同市収入役の大谷直敏氏（61）の三人。いずれも無所属で出馬する意向を示している。

合併特例法期限まで残り二カ月半余りとなり、焦点になっている合併問題について、長崎氏は「反対。メリット説明がなく、町の足並みも乱れ、住民不在の協議だ」と述べた。小川氏は「精力的な協議が調った。それを市民に問い、意見を聞き、それを踏まえて決める」と述べた。大谷氏は「現在の進め方に反対。最終的に情報提供の上で住民投票が必要と考える」と述べた。

神奈川新聞 1月10日

米陸軍第一軍団司令部のキャンプ座間移転問題は、三氏とも「反対」と明言した。住民投票への考え方や、市債残高の削減策などについても意見を交わした。

（吉田 勝行）

東京新聞 1月7日

報道転載

相模原市長選 立候補予定者3人

「合併問題」争点に公開討論



相模原市長選の公開討論会で○、×式の質問に答える大谷、長崎、小川の各氏（左から）

読売新聞 1月10日

相模原市長選（十六日告示、二十三日投票）の立候補予定者三人による公開討論会が九日、同市富士見のあじさい会館で開かれた。各氏の主張に耳を傾けた。討論会に参加したのは、

現職の小川勇夫氏（74）、前市収入役の大谷直敏氏（61）、一級建築士の長崎克央氏（48）の三人。津久井郡四町との合併やキャンプ座間（相模原市、座間市）への米軍移転問題など四項目について意見を戦わせた。

争点の合併問題について、小川氏は「財政見通しが厳しいことから、四町から合併の申し入れを受け、協議を進めている」と述べ、合併推進の立場を改めて表明。これに対し、大谷氏は「合併について住民の間で合意ができていない」、長崎氏も「住民不在の合併協議だ」と早期合併に反対する姿勢を強調した。

立候補予定者が公開討論

相模原市長選 立候補予定者三人が公開討論
二十三日投票の相模原市長選の参考にしてもらおうと、出馬予定者三人を招いた。公開討論会が九日午後七時から、同市富士見のあじさい会館で開かれる。

「合併」「基地」「借金」「住民投票」をテーマに各氏が持論や政策などを述べる。討論の様子は地元ラジオ局の「エフエムさがみ」で生中継されるという。

無料。問い合わせは同実行委員会の赤倉昭男さんへ電話042(749)9140へ。

市長選 - 公開討論会 - アンケート 結果

●アンケート用紙配布数 340枚 ●回収数 89枚 (回収率26%)

■性別 男性 61 (69%) 女性 28 (31%)

■年代 10代=0 20代=10(11%) 30代=7(8%) 40代=9(10%)
50代=15(17%) 60代=35(39%) 70代以上=13(15%)

■会場までの交通機関

自家用車 64(72%) 自転車 10(11%) バス 8(9%) 電車 6(7%) 徒歩 4(4%)
タクシー 1(1%)

■討論会を知った媒体 (複数項目選択可)

新聞報道 32(36%) 知人から 20(22%) FMさがみ 12(13%) 実行委員から 8(9%)
候補者から 6(7%) ちらし 5(6%) ポスター 3(3%) その他 7(8%)

■支持する候補者があった

「はい」 支持が変わった 3(3%) 「なかった」 決まった 10(11%)
変わらなかった 50(56%) 決まらなかった 13(15%)
分からなくなった 5(6%) 迷ってしまった 3(3%)

■討論会についての感想

大変よかった 41(47%) よかった 31(36%) や期待はずれ 6(7%) 期待はずれ 3(3%) どちらとも 6(7%)

市民活動サポートセンター2周年記念行事に参加
— 前期 - 寸評編 「通信簿」(46議員) を発表 —

本会では11月7日(日)けやき会館で開催された「さぼせんフェスタ'04」に参加して、「あなたの選んだ46議員の「通信簿」(前期・寸評編)」を展示、公表しました。議会の議席順に顔写真と寸評を並べ会派別が分かるように色分けしました。おかげさまで好評、パネル前でじっくり見て下さいました。

展示に加え、寸評をA4サイズで配布しましたが、「明日の集まりで話題にしたから」と何枚か持っていかれた方などで、終了時には4~5枚しか残っていませんでした。また「後援会に入っているから」とか「寸評した人の名前を明らかにしないで、こんなこと言っているの」と言われましたが、常時議会傍聴している会員の声をまとめたことや、ぜひ傍聴して確かめて下さいと話しました。

その他のご意見や感想をいただきましたので、ご紹介し、会の今後にも役立てたいと思っています。(原文のまま)

☆☆☆☆

- 「よくする会」の活動を楽しみにしています。これからもどんどん真実を市民に届けてください。
- 自分たちがやろうとしていることと「よくする会」の目指していることの基は同じ。要は“変える”ということ。自分たちは行政の中で民間の考え方、やり方を浸透させていきます。
- 市長の評価はやらないの? どうせ良くないでしょうが検討を。
- これはいい展示です。例えば「会派へ持ち帰り」なんて、見たり聞いたりした人じゃないと分からない。がんばってください。(大野千恵子) ■

本会が市長選公開討論会

—— 激論 2 時間半、会場が満席に ——

年明け早々の1月9日(日)の夜、投票日を2週間後に控えた相模原市長選挙のための「公開討論会」が市立あじさい会館で開催された。本会が、さがみはら市民オンブズマン、相模原の教育を考える市民の会と共に主催した。

358席の会場をほぼ埋め尽くした市民は、大谷直敏、小川勇夫、長崎克央の3立候補予定者の発言の全てを聞き漏らすまいと、熱心に耳を傾けた。主催者側が出した質問は「合併」「基地」「借金」「住民投票」の4つ。合併推進の現職小川市長に対し、大谷・長崎両氏は慎重な態度を表明した。今回の選挙が、合併の在り方で対立した現職と反発して退任した収入役との厳しい対決の構図があるだけに、会場の緊張感は大かった。

今回の討論会は、「アゴラ」誌、I7Mさがみ、相模経済新聞、J-COM相模原など地元各社が後援した。当日回収されたアンケートの結果概要は本号11頁に掲載されています。

討論会は2時間半の全てを「エフエムさがみ」が生中継、大変な評判となった。

相模原市長選挙 公開討論会

エフエムさがみ 全討論を生中継!





1月9日(日)午後7~9時半

あじさい会館ホール 相模原市南区4-1-28 0756-3063 (154席・会場・入場無料)

主催：相模原市長選挙・公開討論会実行委員会 後援：I7Mさがみ/アゴラ/相模経済新聞/J-COM相模原
協賛：相模原市議会をよくなる会/市民の会/市民オンブズマン/相模原市教育を考える市民の会

編集後記

- 市長選・公開討論会の準備で正月返上となったが、会場を埋めた来場者を見てやっと正月気分を味わえた。
- 会場経費を含め5万円も料金の約7割で賄うのは大変。筆者は討論会の公設民営を唱えているが、行政当局や選挙管理委員会がどう決断するか。(赤)

3月定例会日程 (会議の開始は毎日朝9時半から) ★陳情締切 2/21

2月16日(水) 議会運営委員会	3月9日(金) 民生委員会
2月22日(火) 本会議(議案説明)	3月10日(木) 建設委員会
3月2日(水) 本会議(総括質疑)	3月11日(金) 文教委員会
3月3日(木) 本会議(予備日)	3月23日(水) 本会議(委員長報告)
3月7日(月) 総務委員会	3月24日(木) 本会議(一般質問)
3月8日(木) 環境経済委員会	3月25日(水) 本会議(一般質問、議運委)

□入会申込書□

<入会金不要>

私は会の趣旨に賛同し、入会します。(A、Bどちらか○をつけてください。)

氏名 _____

A. 会員(傍聴など活動する)として

住所 _____

B. 賛助会員(購読し、支援する)として

☎. FAX _____

●年会費(会員2000円、賛助会員1口1000円から)

★郵便振込口座番号:00280-6-48430 相模原市議会をよくなる会

★申込み先= 相模原市議会をよくなる会・事務局(代表/ 赤倉昭男)

〒228-0814 相模原市南台5-13-8 ☎/FAX 042-749-9140